

# 1 海岸の状況の推移

---



現在の海岸防災林の様子。写真中央の米代川河口をはさんで、南側に後谷地国有林、北側に大開浜国有林が広がる。(能代市撮影 H.10)

## 1-1 後谷地国有林の状況の推移

No.2



昭和37年の様子。海岸側から大森山を望む。手前のクロマツ林は、当時、林齢30年生くらいか。写真中央は作業道3号線で、海岸に至る。

No.3



米代川河口、日本海方向を望む。写真中央を東西に通じるのは、作業道3号線。

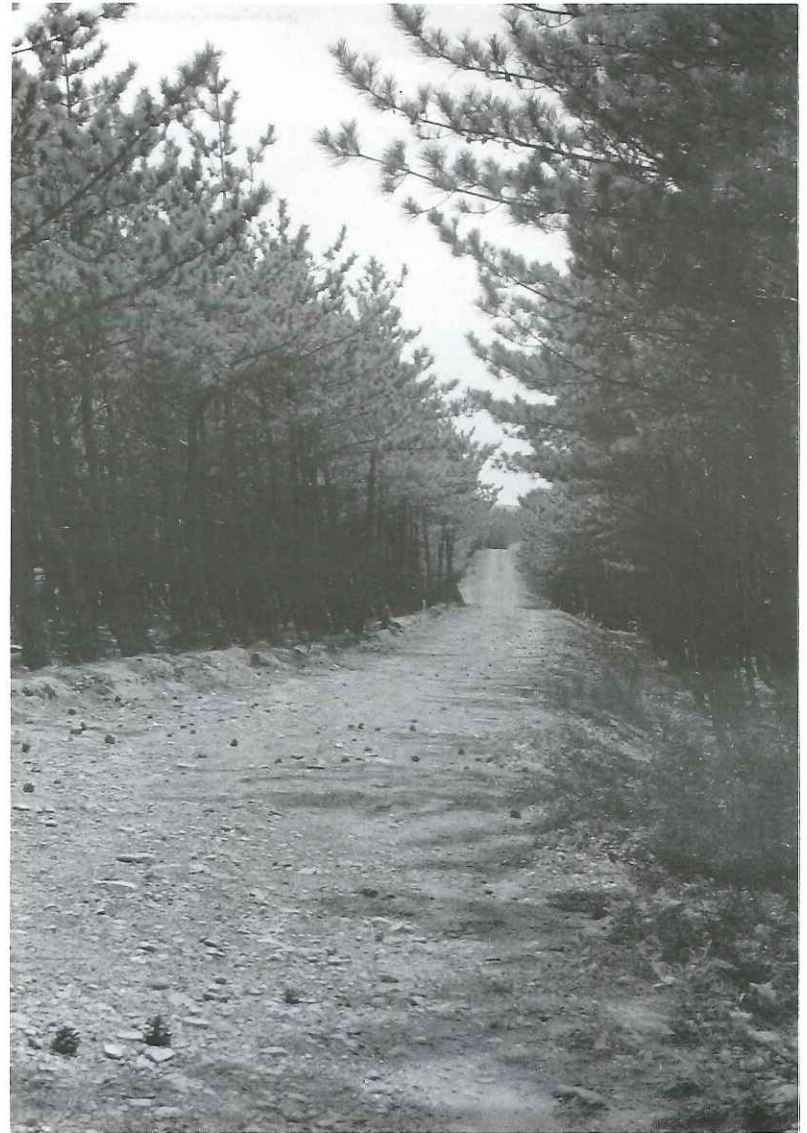


No.4



昭和31年の森林の様子。

No.5



同じ頃、林内を南北に通じる防火線の付近。



キジの放鳥が行われた。鳥も棲めるくらいに森林が育ったと考えられる。(S.37)





平成12年の後谷地国有林。大開浜国有林から、米代川をはさんで、日和山下地区の方向を望む。(森林管理署撮影)



平成12年の後谷地国有林。林内を通る市道の沿線の様子。散歩する人々が行き交う。(森林管理署撮影)



昭和31年の大開浜の様子。写真右側に治山作業場、左側に海岸に至る道路が見える。遠景には、米代川をはさんで後谷地国有林が写っている。





昭和30年の大開浜。当時、付近では馬の放牧が行われていた。



No.11

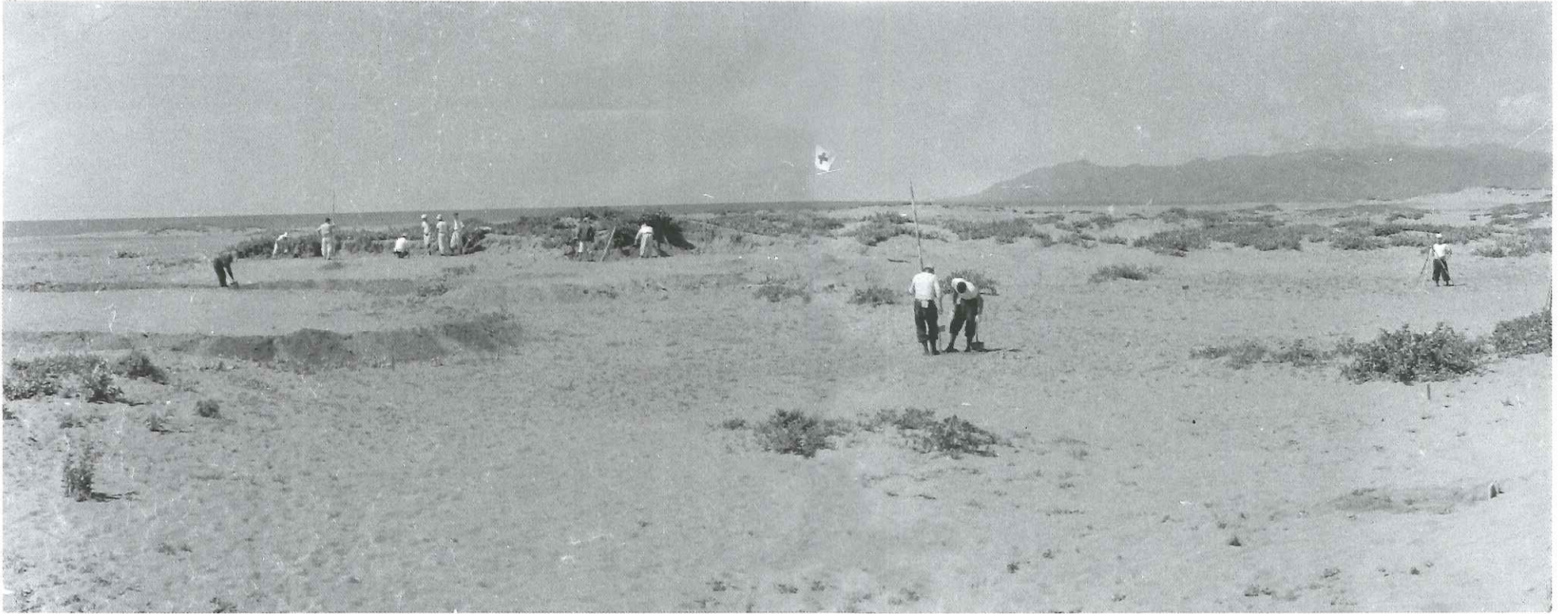


河口付近では、漁師が小屋を設け、シラヤ漁をしていた。

No.12

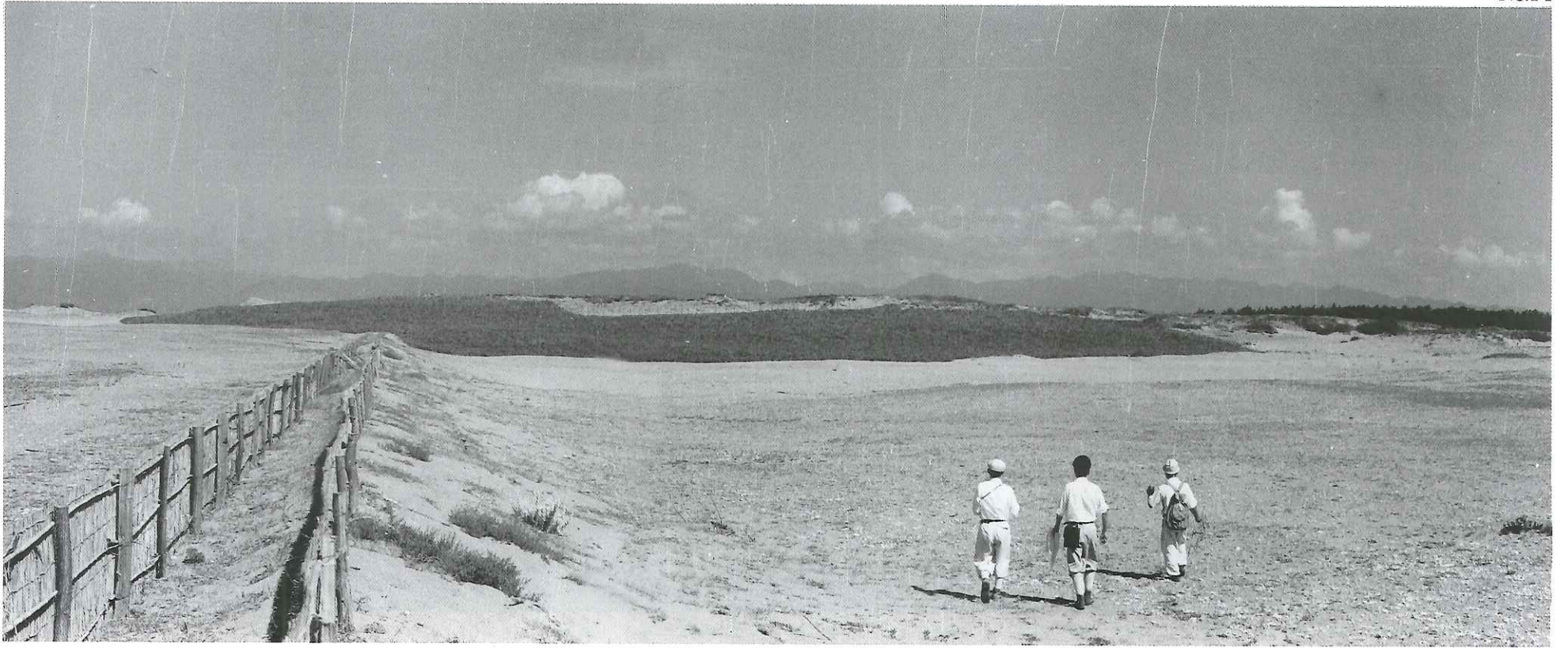


シラヤ漁を行う漁師。

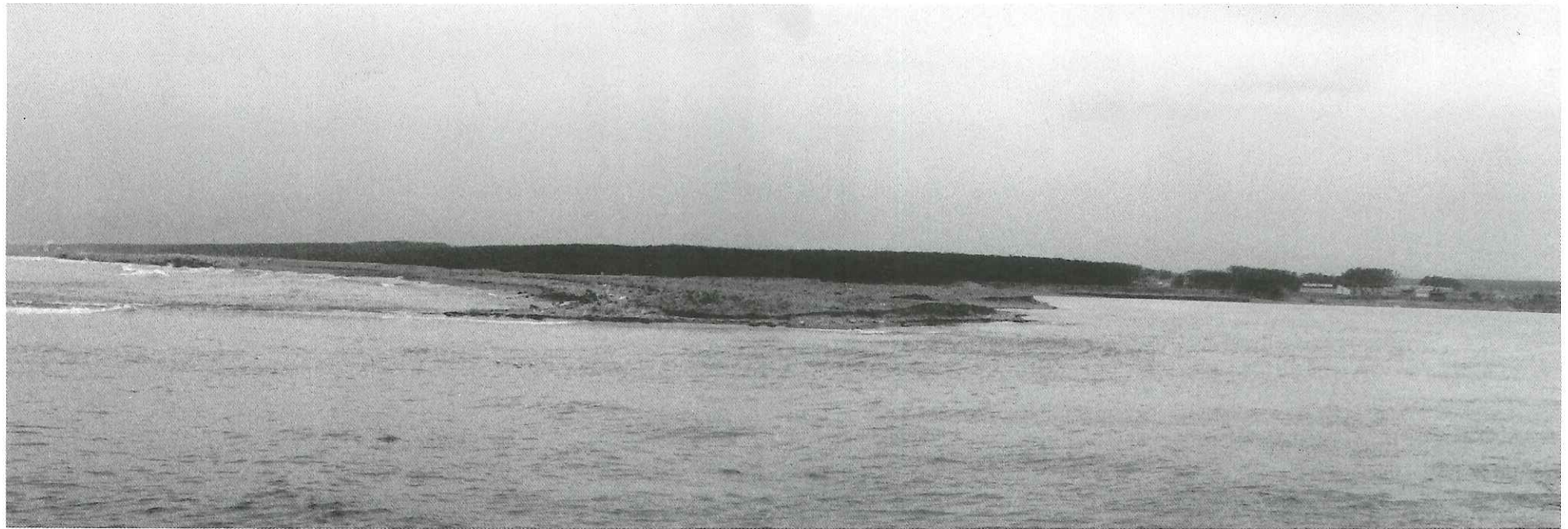


大開浜で海岸防災林の造成に着手した頃。八森町の方角を望む。一面に砂浜が広がる中で、測量や整地作業が行われている。(S.31)





向能代の方向を望む。



平成12年の大開浜国有林。米代川河口の向こうにクロマツ林が広がる。(森林管理署撮影)